

アジアでの質保証を伴った大学間交流にかかる我が国の取組

1. 日中韓大学間交流・連携推進会議の開催

- 第2回日中韓サミット(平成21年10月)における合意を受け、平成22年4月16日に東京で第1回日中韓大学間交流・連携推進会議が開催。各国の政府、大学、質保証機関、産業界等から成る有識者委員により、以下の事項につき合意。
 - ・ 日中韓の大学間交流の構想名称を「CAMPUS Asia」*(キャンパス・アジア)とする。(*Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia)
 - ・ 「大学間交流プログラム・ワーキンググループ」及び「質保証ワーキンググループ」を設置し、専門的な議論を深める。
 - ・ 上記ワーキンググループでは、当面、交流のためのガイドラインや、具体的なパイロットプログラム等を議論。(平成22年8月に第1回会合を開催)
- 平成22年12月10日に中国・北京で開催された第2回会議では、大学間交流を促進するための単位互換や成績評価等に関する3か国間のガイドラインについて大筋合意するとともに、パイロットプログラムを平成23年の早期に開始できるよう準備を進めることで合意。
- パイロットプログラムの実施に対応して、平成23年度予算において、大学の世界展開力強化事業・「キャンパス・アジア」中核拠点支援を開始予定。

2. 東アジア高等教育質保証国際シンポジウムの開催

- 日中韓大学間交流・連携推進会議における検討に加え、ASEAN+3首脳会議の合意に基づきタイが提唱するASEAN+3教育行動計画や、域内の大学団体等における取組とも連携しながら、東アジア各国の政府、大学及び大学団体、質保証機関、産業界等の参加による国際シンポジウムを、平成23年に日中韓の共催により開催予定。

<審議内容>

- ・ 大学間における交流プログラムや質保証に関する共通理解
- ・ 成績管理や単位認定、学位授与等の教育の質の保証に関する事柄を大学間交流のためのガイドラインとしてとりまとめ
- ・ パイロットプログラムの早期実施とその支援方策
- ・ 大学評価の共同指標、質保証に関する共通用語集の発行、各国の大学評価に関する情報の共有化、評価活動の相互参加

<委員>

【日本】

- 安西 祐一郎 中央教育審議会大学分科会長、慶應義塾学事顧問
- 中鉢 良治 ソニー株式会社副会長
- 寺島 実郎 財団法人日本総合研究所理事長、多摩大学学長
- 濱田 純一 東京大学総長
- 平野 眞一 独立行政法人大学評価・学位授与機構長
- 磯田 文雄 文部科学省高等教育局長

【中国】

- 呉 博達 中国教育部学位・大学院生教育発展センター主任
- 季 平 中国教育部高等教育教學評価センター主任
- 楊 河 北京大学学長代理(副学長)
- 張 兆東 中国北大方正グループ株式会社総裁
- 張 秀琴 中国教育部国際協力交流司司長
- 劉 桔 中国教育部高等教育司副司長

【韓国】

- ソン・テジェ 大学教育協議会事務総長
- ユン・ジョンヨン サムソン電子顧問
- イ・ヒョンチョン 祥明大学総長
- キム・インセ 釜山国立大学総長
- キム・テウォン 韓国教育開発院長
- ソン・キドン 教育科学技術部国際協力局長

- : 共同議長